

ニデックが内部管理体制等の改善計画・状況報告書を公表ー引き続き第三者委員会による調査報告と連結財務諸表への影響額を注視

以下はニデック株式会社（証券コード：6594）が改善計画・状況報告書（改善計画書）を公表したことについての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

■見解

- (1) 1 月 28 日、当社は内部管理体制等の改善に向けた改善計画書を作成、東京証券取引所へ提出した旨公表した。当社は、25 年 10 月 28 日付で東京証券取引所より特別注意銘柄に指定された。その後、10 月 30 日付で「ニデック再生委員会」を設置し、第三者委員会の調査と並行して、自主的な社内調査を進めてきた。今回公表された改善計画書は、不適切な会計処理の疑いが事実であると仮定した場合の制度やプロセス、企業風土など構造的原因の先行分析とそれを踏まえた改善措置である。今後予定されている第三者委員会の調査報告及びその他の社内調査報告を受けて、内容の再検討・見直しが行われる予定である。
- (2) 改善計画書では、永守元グループ代表の意向を優先する企業風土、ガバナンス並びに内部統制の脆弱性などが原因として挙げられ、今後は企業風土の改革やコンプライアンス教育の充実、責任の明確化など内部管理体制の強化に取り組む方針が示された。一方、不適切な会計処理の全容とそれによる連結財務諸表への影響額は依然として不明である。26/3 期第 3 四半期決算短信の開示は延期されたが、現時点において受注活動や生産状況などに大きな変化はなく、資金繰りを含めた事業運営に特段の支障は生じていない旨公表されている。第三者委員会の調査報告については、①26 年 2 月末を目途に、原因分析及び再発防止策の提言を含め、その時点における一定の調査結果②その後、最終的な影響額の算定結果等一が行われる予定となっている。引き続き、第三者委員会による調査報告や連結財務諸表への影響額を確認し、適宜格付に反映させていく。

（担当）関口 博昭・村松 直樹

【参考】

発行体：ニデック株式会社

長期発行体格付：AA

見通し：安定的

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等することは禁じられています。

■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第 1 号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル